

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 中山、阿部
 直通：092-643-3597
 内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和5年第43週（令和5年10月23日～令和5年10月29日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第43週は、咽頭結膜熱の1定点医療機関当たりの報告数が6.94となり、8週連続で警報レベルとなる大きな流行が続いています。咽頭結膜熱は、アデノウイルスの感染により、発熱（38～39度）、のどの痛み、結膜炎といった症状が現れる小児に多い疾患です。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので、プール熱と呼ばれることもあります。消毒用アルコールは効きづらいため、感染を予防するには、流水と石けんによる手洗いやうがい重要です。また、感染した人との密接な接触は避けましょう（タオルなどは別に使う）。咽頭結膜熱による高熱は比較的長く（5日前後）続くことがあります。特別な治療法はなく、ほとんどは自然に治りますが、吐き気、強い頭痛、激しい咳がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihe.s.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	10	541	215	11,390
腸管出血性大腸菌感染症	10	188	98	3,122
レジオネラ症	4	74	44	1,856
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	35	13	670
後天性免疫不全症候群	1	39	18	752
侵襲性肺炎球菌感染症	4	66	28	1,393
梅毒	24	773	172	12,165

■ 定点把握疾患報告数

■ : 警報レベル

■ : 注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	367	1.85	0.81	16,075	3.25
インフルエンザ（注意報レベル）	4,053	20.47	1.29	81,160	16.41
RSウイルス感染症	4	0.03	0.22	305	0.10
咽頭結膜熱（警報レベル）	833	6.94	1.10	6,795	2.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	521	4.34	1.06	8,417	2.67
感染性胃腸炎	639	5.33	1.19	9,637	3.06
水痘	18	0.15	1.06	319	0.10
手足口病	174	1.45	0.77	3,229	1.03
伝染性紅斑	1	0.01	1.00	36	0.01
突発性発しん	29	0.24	0.48	772	0.25
ヘルパンギーナ	47	0.39	0.75	742	0.24
流行性耳下腺炎	1	0.01	0.25	120	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	7	0.01
流行性角結膜炎	48	1.85	1.00	614	0.88
細菌性髄膜炎	1	0.07	-	15	0.03
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	17	0.04
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	38	0.08
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	2	0.00

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。